

# 四日市の家計簿



市が実施するさまざまな事業は、市民の皆さんに納めていただいた税金のほか、国・県からの支出金などを財源としています。平成27年度決算がまとまり、8月定例会議で認定されましたので、報告します。



## 一般会計

福祉や教育、道路の整備など行政運営の基本的な経費を賄う会計

さいにゅう

### 歳入 (入ったお金)

前年度比  
 +102億円  
 +9.1%

主な財源

市税収入…+6億円 +1.0%

個人市民税や固定資産税の増など

国・県支出金…+39億円 +18.0%

循環型社会形成推進交付金(国庫支出金)の増など

地方譲与税・交付金…+23億円 +37.4%

消費税率引き上げに伴う地方消費税交付金の増など

市債…+20億円 +30.0%

四日市市クリーンセンター整備による発行額の増など

**事業所税** 平成27年度の事業所税は29億円

人口30万人以上の都市で、一定規模を超える事業を営む事業主から納めていただく税金

事業所税の主な充当先

廃棄物処理施設などの整備に	2億円
産業・生活道路などの整備や、汚水処理・雨水排水などの下水道整備に	17億円
保育園、幼稚園、小・中学校の改修工事などに	8億円

地方譲与税・交付金84億円 +37.4%

地方交付税  
 23億円 △8.1%

国・県支出金  
 [国や県からの収入]  
 258億円 +18.0%

市債[市の借金]  
 89億円 +30.0%

使用料や手数料など  
 137億円 +12.1%

個人市民税  
 188億円

法人市民税  
 58億円

固定資産税  
 295億円

その他市税  
 (事業所税・軽自動車税など)  
 84億円

市税収入  
 625億円  
 +1.0%

依存財源  
 454億円  
 (37.3%)

歳入  
 1,216億円

自主財源  
 762億円 (62.7%)

□内は前年度比  
 ( )内は構成比



笹川中学校 (改装中)

ちゃんねる  
連動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch(CTY)
- 12月21日(水)～31日(土)に放送 月・水・金・日曜日 9:30、20:30  
火・木・土曜日 12:30、20:30

## 特別会計など

特定の事業を行うために  
一般会計と区別して運営する会計

項目	歳入	歳出	実質収支
競輪事業	174億円	164億円	10億円
国民健康保険	356億円	341億円	15億円
食肉センター食肉市場	7億円	7億円	1千5百万円
土地区画整理事業	4億円	4億円	7百万円
住宅新築資金等貸付事業	4千万円	9百万円	3千万円
公共用地取得事業	5億円	5億円	0百万円
農業集落排水事業	3億円	3億円	1千6百万円
介護保険	224億円	205億円	19億円
後期高齢者医療	55億円	55億円	2千万円
桜財産区※	4千万円	2百万円	3千9百万円
合計	829億円	784億円	45億円

※財産管理などを行う特別地方公共団体。桜財産区管理会が、桜地区にある山林の管理などを行っています

## 企業会計など

住民の福祉の増進を目的として主に  
料金収入によって経営される会計

項目	収益的収入	収益的支出	純利益
水道事業	76億円	62億円	14億円
病院事業	203億円	198億円	5億円
下水道事業	145億円	132億円	13億円

27年度は、  
すべての企業会計で  
純利益が出るね!



歳入 1,216億円 - 歳出 1,186億円 - 翌年度へ5億円繰越 = 実質収支額 25億円の黒字

### さいしゅつ 歳出(使ったお金)

前年度比  
+96億円  
+8.9%

主な用途

民生費…+2億円(+0.5%)

保険基盤安定繰入金(国民健康保険特別会計)の増など

衛生費…+77億円(+58.8%)

四日市市クリーンセンターの整備工事による増など

土木費…+7億円(+4.0%)

内部・八王子線運行事業費の増など

総務費…+20億円(+15.5%)

番号制度関連システム整備や将来の財政支出に備えた  
基金積立金の増など

教育費…△13億円(△13.0%)

博物館・プラネタリウムのリニューアルの  
完了による減など

[その他] 消費費・商工費・農林水産業費など

105億円 +13.0%

[教育費] 学校教育や博物館など

87億円 △13.0%



[公債費] 借金の返済

98億円 △7.8%

[総務費] 防災や文化振興など

148億円 +15.5%

[土木費] 道路や公園など

163億円 +4.0%

[民生費] 老人福祉・

児童福祉・

障害福祉など

376億円

+0.5%

歳出

1,186億円

[衛生費] ゴミ処理や予防接種など

209億円

+58.8%



□内は前年度比

### 歳出1,186億円の性質別内訳

義務的経費 497億円(41.8%)			投資的経費 229億円 (19.3%)	補助費等 153億円 (12.9%)	物件費 150億円 (12.7%)	その他 157億円 (13.3%)
扶助費 232億円(19.5%)	人件費 167億円(14.1%)	公債費 98億円 (8.2%)				

( )内は構成比

# 四日市市の財政状況



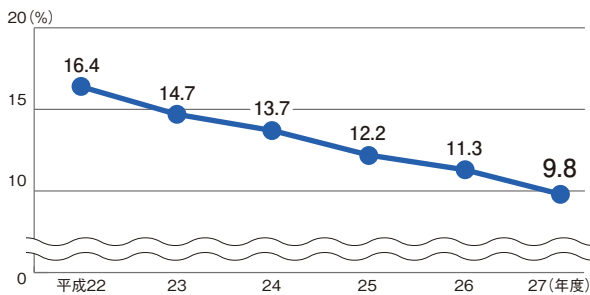
健全度は？

平成27年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による4つの指標について、健全化判断比率を算出しました。本市は、いずれの指標も昨年度の数値から改善しており、早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回る状況が続いています。本市の財政状況は着実に改善が進んでいます。

指標	財政再生基準	早期健全化基準	四日市市(27年度)	四日市市(26年度)
<b>実質赤字比率</b> (一般会計などの赤字の割合)	20%	11.25%	赤字なし(0%) <b>健全</b>	赤字なし(0%)
<b>連結実質赤字比率</b> <sup>※1</sup> (全会計の赤字の割合)	30%	16.25%	赤字なし(0%) <b>健全</b>	赤字なし(0%)
<b>実質公債費比率</b> <sup>※1</sup> (1年間の収入に対して返済する借金が占める割合) (全国市区町村の平均値 <sup>※2</sup> 7.4%)	35%	25%	9.8% <b>改善</b>	11.3%
<b>将来負担比率</b> <sup>※1</sup> (財政規模に対して将来に負担が見込まれる負債の割合) (全国市区町村の平均値 <sup>※2</sup> 38.9%)	—	350%	37.5% <b>改善</b>	46.6%

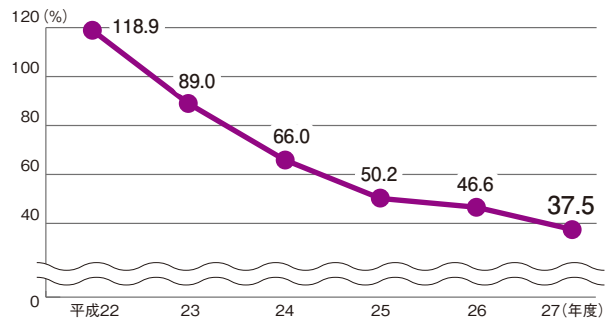
※1 一般会計、特別会計、公営企業会計のほか、公社などの関連団体を含めた会計での比率  
 ※2 総務省発表の速報値に基づいており、今後変動する場合があります

## 実質公債費比率の推移



早期健全化基準の25%を大きく下回るとともに、過去に発行した市債の償還が進み、毎年、改善しています。しかし、平成27年度決算における全国平均7.4%と比較すると、本市の数値はいまだ上回っています。今後も引き続き、改善に取り組めます。

## 将来負担比率の推移



早期健全化基準の350%を大きく下回っており、平成27年度決算における全国平均38.9%と比較しても、本市は良い数値となっています。

このほかにも、民間企業の手法を用いた財務諸表など、さまざまな角度から財政状況を分析しています。詳しくはホームページを参照してください。 <http://www5.city.yokkaichi.mie.jp/menu68040.html>



## 借金・貯金 はどれくらい?

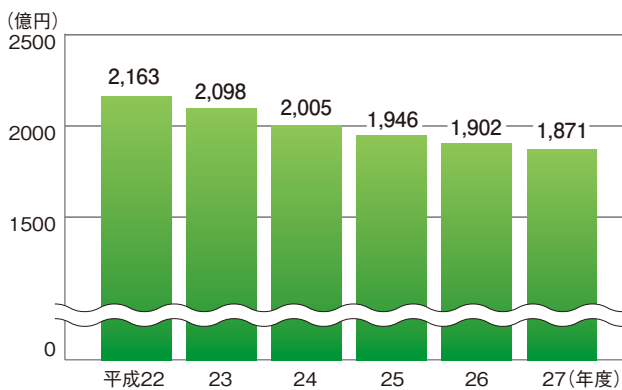
# 持続可能な行財政運営の確立に 努めています

市では、総合計画の着実な推進と健全な財政運営の両方の実現を目指し、「行財政改革プラン2014(平成26~28年度)」を策定しています。

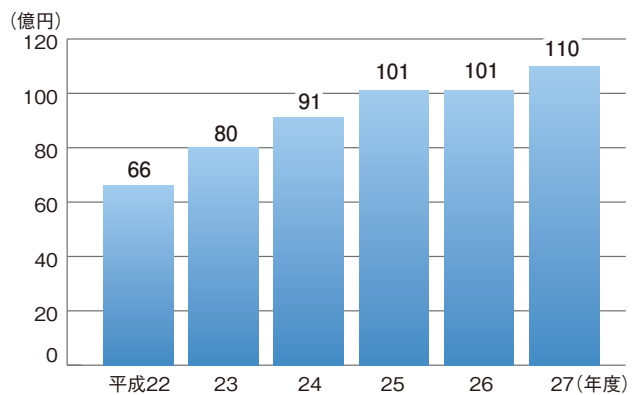
その中で、「持続可能な財政基盤の確立」という視点から、災害など不測の事態や、景気変動などによる減収に備えるため、財政調整基金の確保に努めています。平成27年度においては、年度末残高で110億円を確保できました。

また、「健全な財政運営」という視点から、市債発行額の抑制に努めた結果、全会計の市債残高の合計は1,871億円となり、対前年度比で31億円減少しました。

### 市の借金(全会計市債残高)の推移



### 市の貯金(財政調整基金)の推移



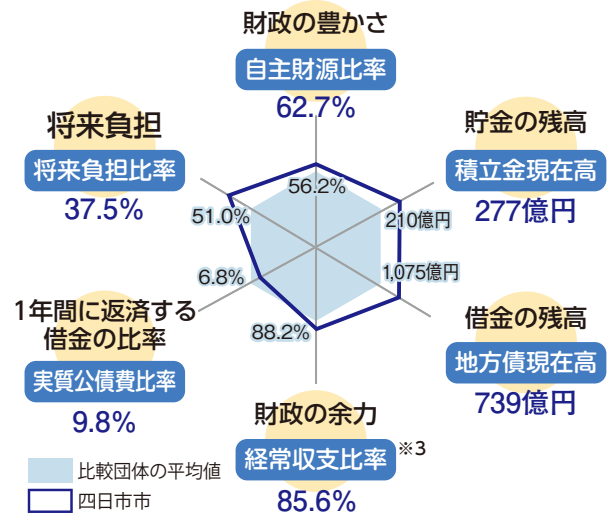
## 他都市と 比較すると?

本市では、市税などの自主財源比率が他団体と比較して高い水準にあり、国・県支出金などに大きく依存しない構造となっています。

財政指標の比較としては、過去に発行した市債の償還額の割合が高いことから、実質公債費比率は、比較団体の平均値より高い返済比率となっています。その他の指標に関しては、比較団体より良好な水準となっています。

現状の維持・改善のため、一層の財政の健全化を進めていく必要があります。

※比較団体の平均値は、各団体から提供のあった数値に基づき算出し、統一的な基準(普通会計ベース)で記載しています



※3 扶助費など制度的に支出することが義務付けられている経費が一般財源に占める割合。数値が低いほど弾力性がある

の外側にあるほど、良好な状態を表す

比較団体...中核市または中核市の要件を満たす都市のうち、(青森市、秋田市、前橋市、川越市、越谷市、岐阜市、豊橋市、岡崎市、豊田市、春日井市、一宮市、大津市、吹田市、明石市、高知市)



# 平成27年度の主な事業



どんな  
まちづくりを  
したのかな？

本市では、「四日市市総合計画(平成23～32年度)」に掲げる5つの基本目標に応じて、3カ年ごとに実施計画として「推進計画(第2次推進計画は平成26～28年度)」を策定しています。

これらの推進計画事業へは財源を重点的に配分し、集中して事業を推進しています。平成27年度に実施した事業の成果の一部を紹介するとともに、決算額の大きい上位5事業を紹介します。

## 基本目標 1 「都市と環境が調和するまち」を目指して…

決算額 169億円

平成27年度決算額(額が大きい順) (百万円)

1	新総合ごみ処理施設整備事業	11,645
2	公共下水道事業(汚水)	2,046
3	水道整備事業	1,428
4	曙町市営住宅建替事業	613
5	南部埋立処分場整備事業	523



### 新総合ごみ処理施設整備事業 116億4,507万円

焼却施設と破砕処理施設からなる新しい総合ごみ処理施設「四日市市クリーンセンター」を整備し、平成28年4月から運用しています。



四日市市クリーンセンター

## 基本目標 2 「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」を目指して…

決算額 4億円

平成27年度決算額(額が大きい順) (百万円)

1	企業立地奨励金交付事業	298
2	中心市街地再開発促進事業	28
3	中心市街地再生事業	22
4	観光施設整備事業	19
5	観光・シティプロモーション事業	17



### 企業立地奨励金交付事業 2億9,844万円

市の産業の発展のため、奨励金を交付しています。工場や設備・装置などを新・増設した企業に対し、交付を行いました。



増設した工場

## 基本目標 3 「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」を目指して…

決算額 59億円

平成27年度決算額(額が大きい順) (百万円)

1	消防救急無線デジタル化 および新消防司令センター整備事業	1,216
2	総合治水対策推進事業【公共下水道事業(雨水)】	1,122
3	公共施設アセットマネジメント事業	734
4	道路橋梁整備事業【主要道路リフレッシュなど】	636
5	内部・八王子線運行事業	568



### 消防救急無線デジタル化および新消防指令センター整備事業 12億1,613万円

四日市市、桑名市、菰野町の3消防本部による共同の新消防指令センターを整備し、平成28年4月から運用しています。



新消防指令センター

基本目標 **4** 「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」を目指して…

決算額 **26**億円

平成27年度決算額(額が大きい順)	(百万円)
1 子育て関係医療費助成事業	845
2 高精度放射線治療棟整備事業	504
3 学童保育推進事業	327
4 在宅介護支援センター運営事業	191
5 地域型保育事業	146

**高精度放射線治療棟整備事業** 5億361万円



がん治療の充実を図る高精度放射線治療装置を導入するため、高精度放射線治療棟の整備を進めています。装置の設置や調整を経て、平成29年4月に供用を開始する予定です。



整備が進む高精度放射線治療棟

基本目標 **5** 「心豊かな“よっかいち人”を育むまち」を目指して…

決算額 **16**億円

平成27年度決算額(額が大きい順)	(百万円)
1 大規模改修事業	332
2 少人数学級拡充事業	267
3 途切れのない指導・支援事業	183
4 校舎改築事業	176
5 空調設備整備事業	164



**大規模改修事業** 3億3,158万円

校舎および体育館の大規模な改修を計画的に行っています。平成27年度は、水沢小・塩浜中(校舎)、および神前小(体育館)を改修しました。また、富洲原小・大池中・保々中の設計を行いました。



改修した水沢小学校校舎

なるほど!



市内のいろいろな所にお金が使われたんだね!

バランス  
バランス~



収支の**バランス**を見て、ボクたちの住むまちを良くするために必要なことにお金を使うことが大事だね!

編集後記

「決算と聞くと、なんだか難しくて敬遠してしまう」。そんな人にも興味を持っていただいて、少しでも目を通していただけたいとの思いから、こにゅうどうくんと一緒にお伝えしました。この特集が、「市の家計簿」を知っていただくきっかけになればと思います。(財政経営課 水谷、広報広聴課 服部)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は **財政経営課 ☎354-8130 FAX 359-0275**  
**広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974**